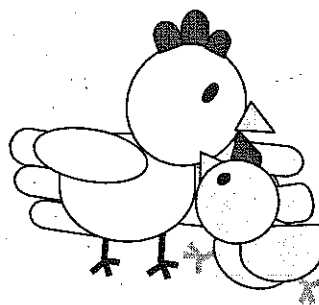


# 平成24年度 親のための応援塾 開催事業 Q & A



## <目 次>

### <基本編>

- Q 1 「親のための応援塾」はどんな事業ですか。
- Q 2 「親のための応援塾」はいつから、どのような理由で始まったのですか？
- Q 3 「親のための応援塾」の対象者は誰ですか？
- Q 4 なぜ、複数回開催するのですか？
- Q 5 大勢参加してもらうためにはどうしたらいいですか？
- Q 6 就学時健康診断を活用して開催しようと思うのですが良い工夫はありますか？
- Q 7 対象保護者にはどのように開催のお知らせをしたらいいのですか？
- Q 8 保護者にとってのメリットは何ですか？
- Q 9 PTA（育友会）活動が忙しくなるのではという声を聞きますが…？
- Q 10 学校にとってのメリットは何ですか？
- Q 11 子どもにとってのメリットは何ですか？
- Q 12 「親のための応援塾」のキーポイントは何かですか？
- Q 13 語り合いの場が充実するために、具体的にどうしたらいいですか？
- Q 14 市町村でも同様の子育て支援をやっていますが「親のための応援塾」との違いは何ですか？
- Q 15 対象者（5歳児）がいない場合はどうするのですか？
- Q 16 小規模校なので、開催する必要はないのではとも思いますが…？
- Q 17 複数小学校での合同開催は可能ですか？
- Q 18 グループ交流会は、気軽に話ができると好評です。できればもっと子育てについて交流したいと思うのですが、何かいい方法はありますか？
- Q 19 他の学校の取組の様子を知りたいと思うのですが、何か方法はありますか？
- Q 20 平成24年度「親のための応援塾」の手続き上のスケジュールはどのようになっていますか？
- Q 21 地域のボランティアの方々に協力していただいて「親のための応援塾」を開催されているところがあると聞きましたが…？
- Q 22 地域の保育園（所）・幼稚園を会場に「親のための応援塾」を開催することは可能ですか？
- Q 23 保育ルームを設置したいのですが、どうしたらいいですか？
- Q 24 本校では「京のまなび教室」をしていますが、「親のための応援塾」とコラボすることは可能ですか？
- Q 25 本校では「もうすぐ1年生」体験入学推進事業に取り組んでいます。「親のための応援塾」と同時に開催しようと思っているのですが、どうでしょうか？

### <実務編>

- Q 26 傷害保険は、各PTA（育友会）ごとに参加するのですか？
- Q 27 傷害保険の参加者名簿は、事前に送付しなくていいのですか？
- Q 28 就学時健診に合わせて開催した場合、入学予定児童の名簿でいいのですか？
- Q 29 領収書は希望額ちょうどでないといけませんか？
- Q 30 インフルエンザなどで開催できなかった時には、別途開催日を設定する必要がありますか？
- Q 31 調理実習の食材費に配当金は使えないのですか？
- Q 32 講師の謝金に配当金は使えないのですか？
- Q 33 契約前のプレ開催を、開催回数に数えてもいいのですか？
- Q 34 配当金はどのように届きますか？

# 平成24年度 親のための応援塾 開催事業 Q&A

## <基本編>

### 【趣 旨】

**Q 1 「親のための応援塾」はどんな事業ですか。**

- A PTAが主体となって就学前の子どもを持つ保護者が先輩保護者とともに子育ての不安や悩みについて話し合い、交流を深め、保護者同士のネットワークづくりを進める京都府独自の取組です。府内の小学校・特別支援学校等で開催されています。少人数での語り合いや朝ごはん作り、通学体験、袋づくり講習会など、ニーズに合わせて、それぞれのPTA（育友会）オリジナルの企画が開催されています。京都府PTA協議会が京都府教育委員会からの委託を受けて進めている事業です。

**Q 2 「親のための応援塾」はいつから、どのような理由で始まったのですか？**

- A 平成19年度から始まり、今年度で6年目です。今、地域では隣近所の付き合いが少なくなり、子育てについて身近に相談する人も少なくなってきました。特に子どもの入学を控えた時期は、親にとって不安が大きく、この事業でその不安を少しでもやわらげようとスタートしました。

### 【対 象】

**Q 3 「親のための応援塾」の対象者は誰ですか？**

- A 小学校入学前の子どもを持つ保護者です。

### 【実施回数】

**Q 4 なぜ、複数回開催するのですか？**

- A 回を重ねると保護者同士の交流も深まり、顔見知りも増えていきます。入学までに顔見知りができるとうれしいです。また、主催者側にとっても、前回の反省を次回に生かすことができ、内容も充実していきます。

### 【案 内】

**Q 5 大勢参加してもらうためにはどうしたらいいですか？**

- A 年数回開催するうち、ほとんどの保護者が参加する行事（就学時健康診断や入学説明会等）をご活用ください。対象の保護者が1年間のうち1回は「親のための応援塾」に参加できるように工夫していただけたらと思います。できれば、行事が終わってからではなく、内容の一つに組み込んでもらうなど、行事に参加された方すべてが応援塾にも参加できるように工夫していただけたらと思います。例えば、子どもの健診や体験の間に応援塾をし、時間が合わないときは、子どもたちに本の読み聞かせをするなどして調整、終わったら保護者とともに下校するといった取組をされているPTA（育友会）もあります。

それ以外の日に実施する場合も、給食試食会・物品販売・学校公開・PTA（育友会）教育講演会などと併せて開催されると、人が集まりやすいです。

また、多くの保護者が参加しやすいように開催時刻を夜や、お迎えの時刻に設定したり、幼稚園・保育所（園）の土曜参観の日などに実施しているPTA（育友会）もあります。

就学時健康診断・入学説明会等、ほとんどの保護者が参加する行事と応援塾を同時開催  
平成22年度は163校が実施（約69%）  
平成23年度は216校が実施予定（計画）（約93%）



**参加しやすい条件整備 参加率 91%**

参加率100%達成の学校も増加(166校/237校 約70%)

H22の実施報告より

**Q6 就学時健康診断を活用して開催しようと思うのですが良い工夫はありますか？**

A 例えば、就学時健康診断の待ち時間を活用して校内探検（シールラリー）や、学用品や入学準備品の展示等を行い、就学時健康診断終了後には座談会形式での交流をされているPTA（育友会）もあります。

地域のボランティアや、本部役員以外の在校生の保護者の方にたくさんご協力いただいているかがでしょうか。

**Q7 対象保護者にはどのように開催のお知らせをしたらいいのですか？**

A 保育園（所）・幼稚園の園長先生に、案内チラシを配ってもらうよう依頼に行くと効果的です。運動会の新入児種目や、地域の夏まつりの場で「親のための応援塾」の宣伝をしたり、対象の保護者にハガキで次回の応援塾の日程をお知らせしたりされたPTA（育友会）もありました。

自治会に依頼をして回覧板や地域の掲示板などを利用させていただくのも一案です。府Pのホームページに、PTA（育友会）が作られた案内チラシを掲載していますので、参考になるかもしれません。

**【保護者のメリット】**

**Q8 保護者にとってのメリットは何ですか？**

A 先輩保護者から体験談などを聞き、その学校・地域ならではの情報を教えてもらったり、子育ての知恵を学んだりできることです。先輩保護者にとっても、子育てを振り返る機会となり、新たな気付きや「これからこうしてみよう。」というアイデアも生まれます。

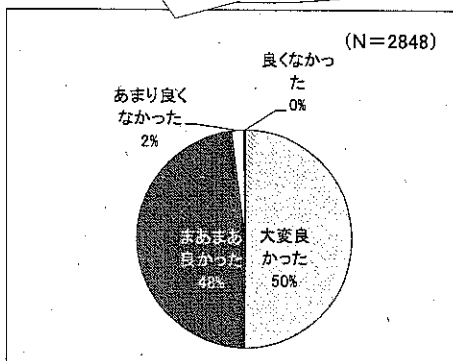
また、保護者同士が顔見知りになり親しくなると安心です。「悩んでいるのは、私だけではない」と思え、なんだかほっとします。

**平成22年度参加者アンケートより**

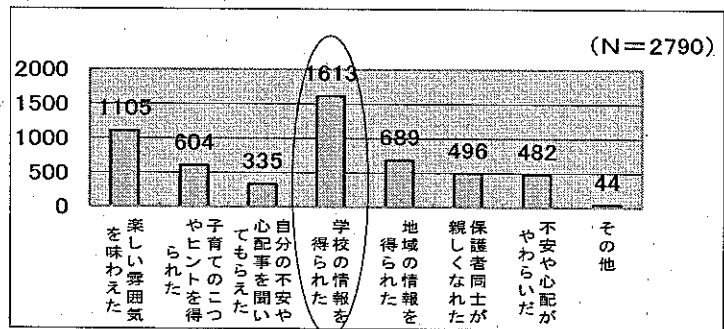
アンケート回収状況：159校／237校

対象人数：10350人 回答：3305枚 有効回答：3074枚

全体を通じて応援塾に参加された印象はどうでしたか？  
(一つに○)



良かったと思うことは？  
(複数回答)



**Q9 PTA（育友会）活動が忙しくなるのではという声を聞きますが…？**

A いろいろ打ち合わせをしたり準備をしたりと、確かにPTA（育友会）活動が忙しくなるかもしれません。

しかし、PTA（育友会）の皆さんが主体的にアイデアを出し、工夫をして「親のための応援塾」の企画・運営していく中で、より学校が身近になりますし、自分達の学校を自分達の手でよくしていくという自覚も強くなります。主催者対象のアンケートでは、「保護者同士で子育てに関する会話が增进了」「PTA（育友会）と学校の連携が深まった」と答える方が大勢いました。

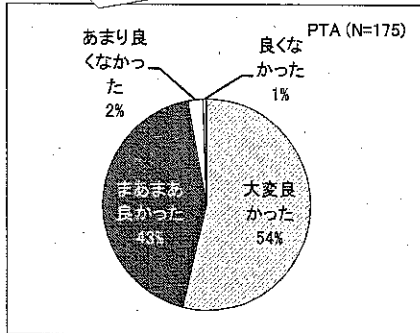
また、入学前に「親のための応援塾」に参加した保護者が、次の年には主催者側のスタッフに

なっているPTA（育友会）もあります。そうした応援リレーが毎年継続していくことは、保護者同士をより親密にし、PTA（育友会）活動が楽しいものとなり、ひいては地域の活性化にもつながっていきます。

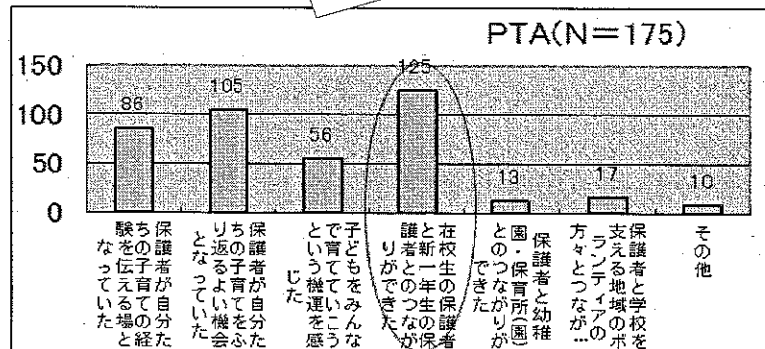
平成22年度主催者（PTA）より

アンケート回収状況：PTA（育友会）175校／237校

親のための応援塾を開催して良かったですか？（1つ）



応援塾の良いところはどんなところでしたか？（複数回答）



### 【学校のメリット】

Q10 学校にとってのメリットは何ですか？

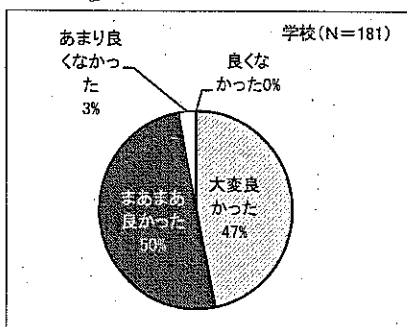
A 保護者同士のつながりができたことで情報交換が活発になり、学校に対する些細な問い合わせが減ったり、不安をやわらげてもらえたというプラスイメージで入学してもらうことで、学校と保護者の距離感が縮まったという例もあります。新1年生は、家庭で少しずつ準備してから入学してくるので、学校生活をスムーズにスタートできます。

また、「親のための応援塾」の企画・準備を進める中で、現PTA（育友会）に学校の教育方針を伝える機会となったことが最大のメリットだったという学校現場からの声もあります。

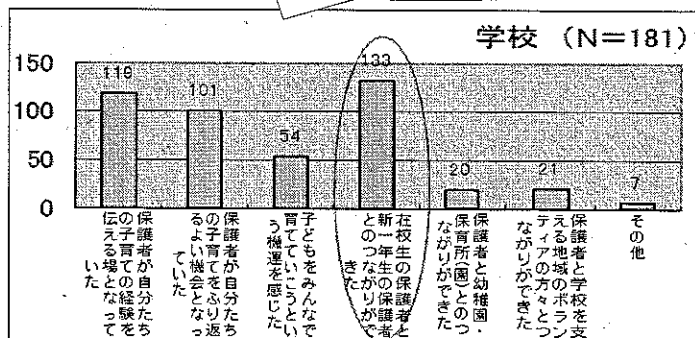
平成22年度主催者（学校）アンケートより

アンケート回収状況：181校／237校

親のための応援塾を開催して良かったですか？（1つ）



応援塾の良いところはどんなところでしたか？（複数回答）



### 【子どものメリット】

Q11 子どもにとってのメリットは何ですか？

A 保護者が早期からつながり学ぶ場を増やすことで、より充実した子育てが継続します。保護者の不安がやわらぐことにより、あらかじめ家庭の中で学校生活に向けての準備ができ、子どもがゆったり過ごせます。

さらに、保護者同士のつながりが身近な地域の中にできることは、学童期にとどまらず子どもの成長していく上で大変重要なことです。

## 【「親のための応援塾」の特徴】

### Q12 「親のための応援塾」のキーポイントは何ですか？

- A 保護者一人一人が互いの思いを語り合える場を作ることです。  
話や講演を聞くだけではなかなか打ち解けられず、本音も出てきません。お互いに話すことで、より親近感が生まれ、助け合っていこうとする気持ちも芽生えてきます。

### Q13 語り合いの場が充実するために、具体的にどうしたらいいですか？

- A 交流に入る前に簡単なゲームなどをして場をなごませたり、調理実習などの共同作業を通して、話しやすい雰囲気をつくったりすると、話が弾みます。  
その場合、4～6人くらいの小グループが最適です。兄弟の学年を記入した名札を準備するなどの工夫をされるPTA（育友会）が増えています。  
保護者に、ゆったり交流してもらうため、地元の保育所（園）などの協力をいただきながら保育ルームを設置する等の工夫が大切です。

### Q14 市町村でも同様の子育て支援をやっていますが「親のための応援塾」との違いは何ですか？

- A 「親のための応援塾」の特徴は、PTA（育友会）の皆さんの力により、次期会員の支援をしているところにあります。一般的な子育て情報だけではなく、その学校ならではの情報伝達の場、校区の人と人がつながる場ともなります。

## 【「親のための応援塾」開催について】

### Q15 対象者（5歳児）がいない場合はどうするのですか？

- A 本来の対象保護者は、基本的には入学を間近に控えた5歳児を持つ保護者ですが、対象を4歳児・3歳児と年齢を下げて実施してもらってもかまいません。

### Q16 小規模校なので、開催する必要はないのではとも思いますが…？

- A 過疎化が進む市町村ほど、近くに子どものいる家庭が少なく、就学前からつながりをつくる場を設定してほしいという声もあります。  
学校の先生などをゲストに招き、小学校入学前に家庭で子どもに練習しておいて欲しいことを交流したり、地域のボランティアさんに情報を提供してもらったりして、テーマを絞り交流してみたいかがでしょう。「誉めること」「家庭のルール」など、子育て全般に関わって語り合いをすることで、新たな気づきがあります。

### Q17 複数小学校での合同開催は可能ですか？

- A 可能です。特に、小規模校同士の合同開催は、中学校区全体のつながりを深めるのにも効果的です。  
その場合、次の2パターンが考えられます。
- ① 通年で、合同開催する。  
この場合は、幹事校を決め、そこが窓口となって手続きしていただくことをお願いします。  
(配当金の配分は、2,000円×回数×学校数)  
※ ただし1校あたりの配当は6,000円を上限とします。
  - ② プログラムによって部分的に合同開催する。  
この場合は、各PTA（育友会）で年間計画をおたてください。  
(配当金は、各PTA（育友会）毎にお渡しします。)

Q18 グループ交流会は、気軽に話ができると好評です。できればもっと子育てについて交流したいと思うのですが、何かいい方法はありますか？

A 同じ学年になる保護者同士が、子育てについて交流できるといいですね。普段はつついしかることが多くなりがちですが、「子どものいいところ」や自分の子育てで「自慢できるところ」など交流し合うと、日ごろの大変さをちょっと忘れて、ほっとした気持ちになれますね。もし、「どんな話をすればいいのかしら・・・」と思われたら、リーフレット「ようこそ応援塾へ」を参考にしてみてください。ワークシートもついていますので、記入する時間を少しとっていただき交流のテーマにしていただけると、新しい気づきや振り返りができるのではないのでしょうか。

Q19 他の学校の取組の様子を知りたいと思うのですが、何か方法はありますか？

A 京都府教育委員会発行の「PTA活動をすすめるために～学校・家庭・地域社会の架け橋～」に、応援塾の紹介のページがあります。また、府Pや教育委員会社会教育課のホームページにもいままでのニューズレター等が掲載されていますので、参考にしてください。

### 【スケジュール】

Q20 平成24年度「親のための応援塾」の手続き上のスケジュールはどのようになっていますか？

A <契約までの手続き>

- ・ 4月～5月 各単位PTAによる計画立案
- ・ 5月18日（金）までに市町教育委員会→教育局→京都府教育委員会社会教育課へ活動計画書（別紙様式1）をデータにて提出 ※ 経費不要の場合、支出経費計算書の記入は不要。
- ・ 6月1日委託契約締結（全校の活動計画書【別紙様式1】が揃わないと契約できません。）

<契約後の手続き>

- ・ 当初の計画に変更があった場合は、各教育局へ変更内容を連絡
- ・ 各講座終了後14日以内に活動報告書（別紙様式2）を市町（組合）教育委員会へデータにて提出 ※ 2回目以降は、1回目に加筆して提出してもらって結構です。

<提出書類>

- ・ 全ての事業が終了後、3月13日（水）までに傷害保険参加者名簿を市町（組合）教育委員会へ提出（データまたは紙）
- ・ 経費を希望された場合は、領収書の写しと支出報告書（別紙様式3）を提出（データまたは紙）

<その他>

- ・ 参加者用アンケート…1年間の最終回時に実施し、3月13日までに府P事務局へ提出
- ・ 主催者用（PTA・学校）アンケート…全ての事業終了後に実施し、3月13日までに府P事務局へ提出

### 【ボランティアとの連携】

Q21 地域のボランティアの方々に協力していただいて「親のための応援塾」を開催されているところがあると聞きましたが…？

A 地域には、様々な活動をされているボランティアの方々がいらっしやいますので、いろんな方々と一緒に「親のための応援塾」を開催すると、さらにつながりの輪が広がります。

<例>

- ・ 読書ボランティア … おすすめの本の紹介など
- ・ 安心安全ボランティア … 通学途中の危険個所の紹介など
- ・ 食育ボランティア … 朝ごはんクッキングなど

### 【保育園（所）との連携】

Q22 地域の保育園（所）・幼稚園を会場に「親のための応援塾」を開催することは可能ですか？

- A 可能です。これまでも保育園（所）の土曜参観などにあわせて「出前応援塾」をされているPTA（育友会）があり、参加しやすいと好評です。

Q23 保育ルームを設置したいのですが、どうしたらいいですか？

- A 近くの保育園（所）の保育士さんに来ていただいてみてはいかがでしょうか。  
どうしても、保育ルームの保育士さんが手配できないときには、回数に限りはありますが、京都府の保育ルーム設置促進事業を活用することも可能ですので京都府教育委員会社会教育課に御連絡ください。

### 【他事業との連携】

Q24 本校では「京のまなび教室」をしていますが、「親のための応援塾」とコラボすることは可能ですか？

- A 可能です。  
「京のまなび教室」は、子どものための安心・安全な居場所として、主に平日の放課後や土曜日などに様々な体験活動や学習活動を実施するものです。  
平成23年度は、府内21市町村76教室で開催されていまして、実施校でしたら、「京のまなび教室」に参加している子どもの先輩保護者へも参加を呼びかけ、「親子で『京のまなび教室』体験をしてみよう」というテーマの「親のための応援塾」を企画すると、共通体験を通して気軽に語り合うことができ、地域の方々やPTA（育友会）と顔見知りになり、放課後や週末の子どもたちの安心・安全な居場所づくりについての不安の軽減につながります。

Q25 本校では「もうすぐ1年生」体験入学推進事業に取り組んでいます。「親のための応援塾」と同時に開催しようと思っているのですが、どうでしょうか？

- A 「もうすぐ1年生」体験入学推進事業は、子どもが小学校に入学してからの生活をスムーズに送れるよう、小学校において様々な活動を体験するものです。保護者の不安の中には、「学校になじめるだろうか」「みんなと仲良くできるだろうか」といった子どもの行動に対するものも多くあります。例えば、応援塾で、子どもたちの体験の様子を参観するといった内容を取り入れていただくと、保護者は、子どもの様子を見ることができ、その中でももしも不安や心配があれば、交流会等でおし合うことができます。また、子どもたちが体験したことを話題に家庭において「今日は先生の話をしっかり聞いていたね。小学校では・・・」といった話をするのは、心の準備にもつながります。子ども、保護者ともに不安が解消されることが大切であり、「もうすぐ1年生」体験入学推進事業との連携は効果的です。



## <実務編>

### 【傷害保険】

Q26 傷害保険は、各PTA（育友会）ごとに加算するのですか？

A 京都府PTA協議会で食中毒、熱中症にも対応できる保険に一括加入しますので、各PTA（育友会）からは、参加者名簿を提出いただければ結構です。

Q27 傷害保険の参加者名簿は、事前に送付しなくていいのですか？

A 当日の受付で記入してもらった参加者受付名簿のコピーで結構です。  
その場合、先輩保護者分（スタッフも含む）も入れてください。

Q28 就学時健診に合わせて開催した場合、入学予定児童の名簿でいいですか？

A 保護者の名簿を別に作成していただく必要があります。

### 【経 費】

Q29 領収書は希望額ちょうどでないといけませんか？

A1 領収書の合計金額が、受領した配当金額を超える場合は最終に支出した領収書で調整することになり、超過分については各PTA（育友会）会計からの負担となります。

事 例 受領した配当金が 6,000 円の場合

	【A】		【B】		【C】	
	領収書 平成24年8月10日 ○○PTA会長様 金 2,100 円 △△商店	+	領収書 平成24年9月10日 ○○PTA会長様 金 2,400 円 ××郵便局	+	領収書 平成24年12月5日 ○○PTA会長様 金 1,625 円 ◇◇会社	= 6,125 円
内 訳	コピー用紙 @ 350 円 × 6 冊		切手 @ 80 円 × 30 枚		写真用紙 @ 997 円 × 1 冊 マジックペン @ 157 円 × 4 本	

6,125 円（領収書合計） - 6,000 円（受領した配当金） = 125 円…ア

- ・ アの額がPTA（育友会）会計からの支出となり、最終に支出した【C】の領収書の物品等で調整する。
- ・ 支出報告書（別紙様式3）の記載方法については記入例を参照

A2 領収書の合計金額が受領した配当金に満たない場合（配当金が余った場合）は残金を京都府PTA協議会にお返しく下さい。

京都府PTA協議会

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下立売上ル 京都府庁西別館3F Tel.075-431-8447

ただし、返金は3月13日（水）までにお済ませください。

- ・ 返金方法は銀行振込や現金書留等の確実な方法で、送金願います。
- ・ 振込手数料や郵送代金は事業費の中から支出していただいて構いません。

Q30 インフルエンザなどで開催できなかった時には、別途開催日を設定する必要がありますか？

A できる限り、日程を変更して開催してください。

もし開催できなかった場合には、不要額を返していただくことになります。【3 配当金について参照】ただし、案内・準備物などですでに支出した分は返していただくことなく結構です。

Q31 調理実習の食材費に配当金は使えないのですか？

A 個人に帰するものには、使えません。工作などの材料費も同様です。

Q32 講師の謝金に配当金は使えないのですか？

A 講演会を開催して、その内容をもとに「親のための応援塾」を開くことは、「交流の場を設ける」という点で趣旨を踏まえたものですが、講演会そのものを「親のための応援塾」とは考えていません。したがって、講師の謝金に充てることはできません。

Q33 契約前のプレ開催を、開催回数に数えてもいいですか？

A 委託契約前の6月1日以前に学校行事などとあわせて、「親のための応援塾」を開催していただくことは可能ですが、事業としては対象外となります。6月1日以降に2回以上の開催をお願いします。プレ開催には、配当金を充てることはできません。

Q34 配当金はどのように届きますか？

A 各PTA（育友会）に現金でお支払いをする予定です。（7月中旬を予定）